



大原中だより

さいたま市立大原中学校
 TEL 048-831-5397
 FAX 048-835-1357
 第 7 号
 令和 5 年 1 1 月 1 日

校 訓 「歴史を拓く」
 学校教育目標 はつらつとした生徒、地域に輝く学校

ホームページ : <https://ohara-j.saitama-city.ed.jp/>

“はつらつとした生徒”

校長 岡村 洋彦

木々の紅葉、落葉が、秋の深まりを感じさせるだけでなく、二十四節気では、霜降を過ぎ、間もなく「立冬」です。つい先日までの猛暑はいつの間にか「冬」の様相を帯びています。気温の不安定な時期です。どうぞご自愛いただけますようお願い申し上げます。

10月の行事においても大原中生はたくさんの輝きを見せています。「市新人体育大会」、「市中学校駅伝競走大会」、「校内合唱コンクール」、「定期テスト」など様々な場面で生徒一人ひとりの一生懸命な姿をみる事ができました。

そのような子どもたちの姿をみて、「5気」を思い出しました。「5気」とは、「やる気」「根気」「元気」「本気」「和気」のこと。つまり、5つの気持ちのことです。人として自分の生きる道を歩んでいくためには、「5気」が必要ではないでしょうか。いつも「やる気」をもって「根気」よく取り組み、健康で「元気」に居ること、物事には「本気」になって取り組み、みんなと仲良く協力して「和気」あいあいとやっていく。もちろん、「やる気」が出ない、「本気」になれないこともあるでしょう。しかし、これまでの経験で「どうしてあのときもっと本気にならなかったのだろう」「もっとやる気をもってやっていれば…」と後悔したことは、多くの人があると思います。だからこそ、常に自分に「5気」を言い聞かせることが大切なのだと思います。どうせやるからには、「やる気」をもって、「本気」でやった方が楽しいです。嫌々やらされたことは、身に付きません。自分でやろうと思ったことは、どんどん自分のものになっていきます。勉強も部活動も趣味もそうです。そして、この「5気」をもち続けるためには、ネガティブにならずにポジティブに考えることが大切です。

下に詩人、相田みつをさんの「本気」、「エンジン」、「本の字」という詩を掲載しました。様々な思いを抱いているであろう思春期真っ只中の生徒たちが、詩や本に触れながら気持ちを楽にして、前に向かって前進してほしいを願うとともに、私たち教職員も子どもたちの身近にいる大人の一人として精いっぱい支援してまいります。

本 気
 なんでもいいからさ
 本気でやってごらん
 本気でやれば
 たのしいから
 本気でやれば
 つかれないから
 つかれても
 つかれが
 さわやかだから

エ ン ジ ン
 あのねえ
 自分に
 エンジンを
 かけるのは
 自分自身だ
 からね

本 の 字
 本人 本当 本物
 本心 本気 本音
 本番 本腰
 本質 本性
 本覚 本願
 本の字のつくものはいい
 本の字でゆこう
 いっでも どこでも
 何をやるにも

